

Chroma Therapeutics 社の事例「データ管理により効率を最大限に上げる方法」について

- シニア メディシナル ケミストの Steve Davies 氏へのインタビュー

Chroma Therapeutics 社 (www.chromatherapeutics.com) は株式非公開のバイオテクノロジー企業です。クロマチン・バイオロジーと新しい細胞増殖技術を基に新規医薬品候補の研究開発に力を入れています。

Chroma Therapeutics 社は、クロマチン・バイオロジーに関する知的財産権を体系的に整理した最初の企業であり、専門家たちで構成される強固なネットワークを組織しています。

アクセルリスは Chroma Therapeutics 社のシニア メディシナル ケミストである Steve Davies 氏に、Accord Enterprise Informatics (AEI) と Pipeline Pilot をどのように用いて R&D データの保管、管理、マイニング、分析を行い、効率を上げているかをうかがいました。

「小さなバイオテクノロジー企業ですので、Chroma Therapeutics 社では、AEI と Pipeline Pilot を活用して、同社の研究プロジェクトに関する化学的・生物学的データのすべての保管と検索を行います。Pipeline Pilot Webport が特に有用なのは、どの研究分野の科学者でも簡単にアクセスできる点です。」

Chroma Therapeutics 社がこの新しい統合システムによって解決しようとした問題点・弱点について、Davies 氏は以下のように語ってくれました。「 Pipeline Pilot Webport インターフェースを用いれば、誰もがデータベースにアクセスできます。少しの情報がほしい場合には、検索に AEI を用いるのを躊躇してしまうことがあるようです。手ごわそうで使えないといった声を耳にします。」しかし、「 Pipeline Pilot との統合ソリューションがこの問題を解決しました。当社では、分析依頼プロセスとデータ検索に役立つテンプレートあるいはフォームを簡単に作り出すことができました」。

Davies 氏はシステムの統合そのものについても説明してくれました。「統合は同社のコンサルタントによって行われました。その結果、統合されたシステムのプロセスは大変わかりやすいものであることが証明されました。AEI のデータベースにリンクして必要な情報に到達できるプロトコルが次々と Pipeline Pilot 内部で作成されるのです。」

多くの企業は、AEI と Pipeline Pilot がたいへん効果的に補足し合うことを認識しています。AEI の登録、リスト管理、およびクエリ機能と Pipeline Pilot の強力なレポートング、データ操作および計算機能とを組み合わせることによって、コーポレートインフォマティクスに十分に対応できるソリューションが得られます。

Davies 氏は、Chroma Therapeutics 社でのこの相乗効果の利点について次のように語っています。「AEI と Pipeline Pilot を組み合わせて利用することによって、Pipeline Pilot はデータベースへの検索をより簡潔にし、AEI はデータの入力や、データの複雑な統合を可能にします。」

「Pipeline Pilot を利用すれば、データベースに保管されている化学的および生物学的データを、迅速に、しかも簡単に閲覧できます。たとえば、ID 番号を入力すると、その化合物に関連するすべてのデータが得られます。そのデータには、検索して得られたすべての構造についての物理化学的特性の計算結果も含まれます。これによって、どのようなレポートング様式 (html、excel など) でも、必要な情報を得ることができます。」

「これらの強力なツールを組み合わせると、どちらか一つだけを使用する場合よりも多くの利点が得られます」と Davies 氏は付け加えています。「アクセスが簡単なことは重要な利点です。化学者たちは日常的に AEI を利用していますが、Pipeline Pilot Webport を利用すれば、すべてのスタッフがデータを迅速に、そしてこれが最も重要なことですが、簡単に手に入れることができます。」

「Chroma Therapeutics 社では、AEI と Pipeline Pilot を組み合わせて用いることで、すべてのデータが一元管理され簡単に取り出せるため、より効率的に研究開発が行われています。さらに、ケミストリ レジストレーションパッケージ 'Workbench' が、化学者が化学情報を入力する際にかなり有用なことも間違いのないでしょう。」と Davies 氏は締めくくっています。

アクセルリス株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋3-3-1 西新橋TSビル11F
TEL 03-3578-3860 FAX 03-3578-3872
EMAIL info-japan@accelrys.com WEB <http://www.accelrys.com/jp/>

